



該当するSDGsゴール



宇部市はSDGs達成を目指しています

テーマ (2) モビリティ

■ 解決したい課題

ときわ公園は、常盤湖を中心に広さ約189ヘクタールにも及ぶ広大な敷地を誇ります。

園内には、動物園、植物館、遊園地、野外彫刻、石炭記念館の施設のほか、四季折々の景観が楽しめる周遊園路があります。

今後も市民の憩いの場、県内の観光地として公園が発展していくためには、共生社会の進展に対応し、足の不自由な方でも園内の散策が楽しめ、また、若者を中心としたこれまで公園を利用していない方に興味を持っていただける公園となるよう、新しい技術や考え方を取り入れた公園づくりをしていく必要があります。





■ 実現したい課題

ときわ公園という閉鎖空間の中で安全性に配慮しながら来園者が楽しめる新技術を活用したモビリティの導入により、年齢や障害の有無に関わらず誰もが訪れてみたい、市民にとって誇りを持てる公園を目指します。

そのために、今回、実証実験にとどまることなく、将来的な実装を目指して、企業等が新たなサービスや製品の実証場所として活用し、モビリティの導入による公園の魅力創出のための実証提案や実証事業を公募します。

なお、将来的には公園での実証提案や実証実験を活かし、モビリティを活用した利便性の向上を市街地等で実現したいと考えています。

<実証提案・実証事業の例>

- ・ 園内移動手段として複数の方が乗車可能な新しいモビリティの導入
(電気バス、水陸両用バスなど)
- ・ 園内移動手段として個人又は少数で楽しめる新しいモビリティの導入
(電動キックボード、セグウェイなど)
- ・ 車両の位置情報を元に自動的に車内放送されるAI音声の観光ガイドの導入
- ・ 遠隔型自動運転システム (配車・運行管理など) の導入





■ これまでの市の取組

- ・ 園内電気バス運行（平成26年～令和2年10月）
- ・ グリーンスローモビリティを市街地で導入（令和2年9月～）

